

事業報告書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

公益財団法人 出羽庄内国際交流財団
鶴岡市伊勢原町 8-32

令和7年度 事業報告

事業の実施にあたっては、事業計画に基づき、国際交流促進事業、国際理解促進事業、多文化共生促進事業、国際村施設管理運営事業の4つを主要な事業として進めてまいりました。また、当施設は開設後既に30年を経過していたことから、昨年6月より鶴岡市が外部改修並びに一部施設のリニューアル工事を進め、一部事業の縮小などありましたが、利用者からご理解いただき、安全に事故なく終えることができました。

令和7年度に実施した主な事業は次のとおりです。

1. 国際交流促進事業

地域住民が国際交流を身近に体験する機会として、関係団体、ボランティアとの連携を図りながら、世界各国の文化・芸能・料理・音楽等を紹介する各種の催しを実施した。

(1) 交流イベント開催・支援事業

①第30回出羽庄内国際村ワールドバザールの開催（実行委員会）

- 期 日 6月8日（日）
- 参加者等 一般来場者 約1,200名
関係者、ボランティア等 約400名
（内訳：実行委員等70人、ステージ出場者170人、ボランティア50人、フリーマーケット40人、のど自慢関係者20人）
- 会 場 国際村全館、中庭等
- 内 容
 - ・国際交流関係団体のパネル展示紹介15団体
 - ・地元演奏家や留学生によるステージ発表12団体
 - ・世界の料理模擬店 13カ国17グループ
 - ・フリーマーケット15店
 - ・高校生によるフェイスペインティング、スポーツ課によるボッチャ体験会 等

②出羽庄内国際村音楽祭（実行委員会）

「アフリカの鼓動」

- 期 日 10月19日（日）
- 来場者等 141名
- ワークショップ参加者 31名
- 会 場 国際村ホール
- 内 容 セネガル出身の2名を含む6名のアーティストを招き、伝統

打楽器「サバール」や弦楽器「コラ」の演奏、またダンスを交えた公演を実施した。公演前にはパーカッションのヤヒロトモヒロ氏を中心に「打楽器で世界旅行！」と題したワークショップを行い、アフリカ文化やダンスの基礎を学ぶとともに、本公演を通して更に文化理解を促進することができた。

③新年を祝う会

- 期 日 2月1日(日)
- 参加者等 約130名
- 会 場 国際村ホール
- 内 容 日本語教室学習者、語学講座関係者、ボランティアなどの参加者が一人一品を持ち寄って行う交流会。ゲーム、歌や踊り、楽器演奏などのステージ発表、日本文化である書道や茶道の体験等を行った。

(2) 交流事業の開催支援／実施

①コロラド州青年訪問団 受け入れ事業

- 期 日 6月9日～17日(9日間)
- 参加者等 高校生12名 引率1名
- ホストファミリー 11家庭
- 会 場 鶴岡市内各所
- 内 容 あさひ小学校、鶴岡中央高校、鶴岡東高校、羽黒高校を訪問し、児童・生徒との交流を図った。鶴岡市内のホストファミリー宅に全泊し、市民との交流を深めた。

②留学生ホームステイ・ホームビジット in Shonai (主催)

国際村に登録しているホストファミリーの協力を得て、年末年始休暇等を活用し、庄内在住の留学生を対象として行うホームステイ・ホームビジット事業。
留学生が在籍する各大学に対して、留学生への事業周知依頼をしたが、令和7年度は希望者がいなかった為、実施していない。

③山形大学農学部ウインタースクール ホームステイ支援

毎年、山形大学農学部で行っているウインタースクール事業で来鶴するドイツ人留学生に対し、ホームステイ先の紹介、マッチング等の支援協力を行った。

- 期 間 2月24日～25日(1泊2日)
- 宿 泊 者 ドイツ人留学生8名
- 受け入れ家庭 5家庭

※来日学生は20名

国際村に登録しているホストファミリーへ募集を呼びかけたが必要家庭数には満たなかった。

(3) 国際姉妹・友好都市等との交流促進

①ニューブランズウィック市中学生訪問団派遣事業報告会（市教育員会主催）

- 期 日 7月27日（日）
- 会 場 鶴岡市第三学区コミュニティセンター 大ホール
- 内 容 協会総会後、令和7年3月にニューブランズウィック市を訪れた中学生訪問団の報告会に参加した。

②鶴岡・ラフォア友好協会 儀礼の館「カーズ」の修繕

- 期 日 10月4日～5日
- 会 場 国際村駐車場
- 参 加 者 友好協会員、市職員など 約30名
- 内 容 ニューカレドニア・ラフォア市から友好のシンボルとして贈られたカーズの屋根修繕作業を、盟約30周年記念事業の一環として実施。ラフォア・鶴岡友好協会のフィリップ・ロンバルデ会長も現場で指揮にあたった。

③鶴岡・ラフォア友好協会 盟約30周年オンライン交流会の開催（市主催）

- 期 日 11月15日（土）
- 会 場 国際村ホール
- 参 加 者 友好協会員、市職員、鶴岡第一中学校関係者、財団フランス語講座参加者など 40名
- 内 容 鶴岡市とラフォア市との30年続いた交流を継続するため、両市の挨拶、30年を振り返る動画や写真上映、クイズをオンラインで開催。財団も友好協会事務局として協力し参加者の交流会を図った。

④鶴岡田川地区日中友好協会

- 「春節を祝う会」の開催（2月21日）参加者41名
国際村改修工事に伴い、今年度は鶴岡市第三学区コミュニティセンターで開催した。手作り水餃子、本場の麻婆豆腐、日本の正月料理であるお雑煮などの料理交流のほか、二胡演奏や太極拳の演武を通して中国文化への理解を深め、会員同士の交流を図った。

- 中国語講座の実施：入門、初級、中級の3クラス。参加者20名。

2. 国際理解促進事業

(1) 語学講座の開講

学習者のレベルにあわせた英語、中国語、韓国語、ベトナム語の講座を開講。

対象言語を母語とする外国出身者が講師を担当することで、言語の習得とともに、その国や地域への理解を深めることができた。

英語、中国語、韓国語、スペイン語、フランス語では、時々話題について自由に話せるフリートーク型講座も開催した。

①外国語講座

○英 語	28名
○中 国 語	12名
○韓 国 語	56名
○ベトナム語	2名
○フランス語	11名
合 計：	107名

②フリートーク型講座

○英 語	毎週火・日曜日
○中 国 語	毎週土曜日
○韓 国 語	毎週土曜日
○スペイン語	毎週土曜日
○フランス語	毎週火曜日
○参加者数	延べ 1001名

③中国語特別講座「中国語で巡る上海・四川・台湾の旅」

○期 日	9月28日（日）
○指 導 者	3名
○参 加 者	6名（うち賛助会員は3名）
○会 場	国際村ホール
○内 容	講師の出身地である上海、四川、台湾の観光地を訪れる場面想定し、実践的な中国語会話の講座を実施した。

④英語特別講座「楽しく学ぼう Active English!」

○期 日	3月8日（日）
○指 導 者	4名 (出身国：アメリカ、イギリス、フィリピン、インドネシア)
○参 加 者	15名（うち賛助会員5名）

- 会 場 国際村ホール
- 内 容 小学4年生から6年生を対象に、4つの異なるテーマでブースを設置し、各国出身の英語講師とゲームなどを通して楽しみながら学べる講座を実施した。

(2) 国際理解講座等の開催

子どもから大人まで、それぞれの興味に応じて参加できるよう、料理や体験講座など国際理解のためのカリキュラムを作成し実施した。

①せかいの台所：料理講座

日本在住の外国出身者を講師に迎え、料理を通して交流し、その地域の言語や文化などの理解を深めた（令和7年度は施設改修工事の為、4回開催）。

○指導者出身国（地域）

韓国、プエルトリコ、エチオピア、スペイン

○参加者 延べ77名

○会 場 調理実習室、和習室

②ワールドコミュニケーションクラブ(WCC)

○指導者 リスチ・スントロ氏（インドネシア出身）

シャーロット・ホール氏（鶴岡中央高校ALT）4月

ジョーディン・クラーク氏（致道館高校ALT）5月～

○参加者等 中学生～高校生 延べ51名

○会 場 国際村ホール、研修室ほか

○内 容 月に1回実施し、英語を使ったクイズやゲーム、プレゼンテーション作りなどに取り組んだ。コロラド州からの訪問団とグループワークを通して交流するなど、英語や異文化を実践的に学んだ。

③中高生向け特別企画「Talk! Talk! English」

○期 日 6月14日（土）

○講師 リスチ・スントロ氏（インドネシア出身）

ジョーディン・クラーク氏（致道館高校ALT）

ジョアン・リッツィ氏（コロラド・ユース・イン・アクション指導者）

○参加者 鶴岡市内中高生 21名（うちWCCメンバー7名）

コロラド・ユース・イン・アクション12名 計33名

○会 場 国際村ホール

○内 容 アメリカ・コロラド州の青年訪問団が来鶴する時期に合わせ

地元中高生と英語で交流する機会を設け、同年代の生徒の異文化相互理解を深めた。米沢ユース・イン・アクションのメンバーがイベント開催時に来鶴し協力した。

④フrendシップサロン

外国人や海外活動経験者を講師に迎え、様々な知識や理解を深め、参加者が自由に意見交換できる講座を2回開催した。

○第1回 「インドネシアの紹介と日本での出産体験」

期日：8月31日（日）

スピーカー：マルギ・アシ・マイムナ氏

（インドネシア・プルワカルタ出身／鶴岡市在住／山形大学農学部）

参加者：23名

○第2回 「セネガルのリアルな村暮らし」

期日：3月15日（日）

スピーカー：佐藤 麻衣氏

（鶴岡市在住／ JICA 海外協力隊元セネガル隊員）

参加者：26名

（3）コロラド訪問団派遣

①コロラドスタディツアー 異文化理解プログラム

※令和7年度は実施せず

②コロラドスタディツアー 英語短期集中プログラム

※令和7年度は実施せず

（4）庄内地区中学校英語暗唱大会

青少年が国際語である英語に親しみ言語力を高め、広くその活用を図るとともに、今後のグローバルな社会の一員に資する国際感覚豊かな青少年の育成を目指すことを目的として実施。

○期 日 2月8日（日）

○参加者 庄内在住の中学校1、2年生8名

○会場 国際村ホール

○内容 英語の課題文を暗記し、発表するコンテスト

3. 多文化共生促進事業

在住の外国出身者が地域で安心して暮らせるよう、日本語指導、日本文化の体験、

生活相談業務、情報の収集・提供などの各種事業を下記の内容で実施した。
また、山形県の日本語教育地域コーディネーター業務を受託し、これまでに財団が蓄積してきた庄内地域での関係者ネットワークや日本語教室のノウハウ、多文化共生に関する豊富な経験を活かし、日本語教育及び「やさしい日本語」普及に関する事業を展開した。

(1) 日本語教室運営支援事業

毎週日・水・土曜日に開催している国際村日本語教室の運営の支援を行った。

①日本語教室

- 開催日 毎週日・水・土曜日及び学習者のニーズに応じて実施
- 体制 日本語指導者ボランティア 60名
- 学習者 142名（35ヶ国・地域）
アメリカ、イギリス、イタリア、インド、インドネシア、エチオピア、オーストラリア、オランダ、ガーナ、カナダ、カメルーン、韓国、カンボジア、ケニア、コロンビア、シリア、スペイン、タイ、台湾、中国、ドイツ、ネパール、パキスタン、フィリピン、プエルトリコ、フランス、ブラジル、ベトナム、ペルー、ボリビア、マレーシア、ミャンマー、モンゴル、ルワンダ、ロシア
- 会場 出羽庄内国際村、にこ・ふる、第三学区コミュニティセンター、オンライン
- その他の活動 書道教室（8回）、茶道体験（3回）実施
- 指導ボランティア事務局会議及び総会の実施

②第14回日本語スピーチコンテスト in 庄内

- （主催：実行委員会、事務局：遊佐町日本語講座ボランティア）
- 庄内地域の国際交流関係機関・団体、日本語教室等と連携し、庄内在住の外国出身者による日本語スピーチコンテストを実施した。
- 期 日 12月7日（日）
- 参加者等 暗唱の部 : 5名（鶴岡市3名）、
スピーチの部 : 3名（鶴岡市2名）
来場者 : 約80名
- 会場 遊佐町生涯学習センター2階大会議室
次回の開催地は三川町

③日本料理講座：器の会

外国人向けの日本食文化の料理講習会を開催した。

- 期 日 第1回目 9月27日（土）
枝豆入り和風ハンバーグ、新米(梅干し付)、
とうもろこしとかぼちゃと玉ねぎのみそ汁、
みかん入り牛乳寒天
講師：新藤けい子氏、佐藤貞子氏

第2回目 3月28日（土）
和菓子（練り切り・さくら餅）
講師：本間 三英氏（住吉屋菓子舗）

- 参加者等 延べ18名

④田川地区運動会参加

- 期 日 6月1日（日）
○参加者等 運動会：15名、 反省会：13名
○内 容 田川地区で開催される地域の運動会に日本語教室として参加し、地域住民との交流を深めるとともに、日本の文化や習慣などについて学ぶことができた。

⑤ぶどう狩り

- 期 日 9月21日（日）
○場 所 観光ぶどう園（櫛引）
○参加者等 38名
○内 容 ぶどう狩りを通して、日本語教室の学習者と指導者が懇親を深めながら、日本の季節行事を体験した。

⑥日本語指導ボランティア 養成講座

自分が住んでいる近くで日本語を学びたいという外国人住民のニーズに対応するため、日本語を教えるボランティアの養成講座を行った。

- 期 日 11月16日～12月7日（全6回）
○講 師 加藤 眞由美氏（国際村日本語ボランティア）
工藤 智美氏（国際村日本語ボランティア）
佐藤 幸（（公財）出羽庄内国際交流財団事務局次長）
○参 加 者 22名
○内 容 国際村日本語支援ボランティアの活動に関心・興味のある方を対象にした研修会。国際村日本語教室の紹介、日本

語指導の基礎と実践、国際村日本語教室の見学。

⑦日本語指導ボランティア スキルアップ講座

国際村日本語教室で活動するボランティアの指導力向上を目指し、スキルアップ講座を実施した。また庄内地域の日本語教育関係者にも周知し参加を促した。

○期 日 10月18日(土)

○講 師 村上充(まこと)氏

(「EPAに基づくインドネシア人看護師・介護福祉士候補者日本語予備教育事業」講師)

○参加者 21名

○内 容 これまで国際村の日本語教室では長年『みんなの日本語』を主な教材として来たが、今後、様々な教材を使用する可能性もあることから、コミュニケーションに重点を置いた教材『まるごと』の使い方について学んだ。また、直接法(日本語で日本語を教える)メリットなどについても、改めて広い知見から講師に紹介いただいた。

⑧施設見学会

○期 日 9月7日(日)

○場 所 鶴岡市リサイクルプラザ「くるりん館」

○参加者等 19名(外国出身者 13名)

○内 容 ごみ分別のルールや方法について説明を聞き、実物やごみの選別作業を実際に見学し理解を深めることができた。

(2) 生活相談業務実施事業

生活相談業務担当者として専門の相談員及び国際交流専門員等を配置し、必要に応じ行政、他の機関とも連携し、相談に対応した。

①生活相談窓口の設置

在住外国人及びその家族、市役所や外国人関連企業等の相談業務を実施した。

○内 容 入管手続 : 3件 雇用・労働 : 27件

社会保険・年金 : 7件 医療 : 3件

出産・子育て : 5件 教育 : 44件

日本語教室 : 87件 住宅 : 6件

交通・運転免許 : 5件 手続き一般 : 9件

身分関係(結婚・離婚・DVなど) : 7件 その他 : 63件

○相談受付方法 窓口、電話、携帯電話、メール、LINE や WeChat、

メッセージャーなどの SNS

②通訳・翻訳の対応

- 依頼件数 138 件（通訳 121 件、翻訳 17 件）
- 依頼主 個人 97 件、公的機関 25 件、企業 6 件、医療 9 件、
その他 6 件
- 言語 英語、中国語、韓国語、ウルドゥ語、ベトナム語、
モンゴル語、台湾語
- 内容 医療関係：75 件 生活全般：25 件
教育関係：14 件 観光関係：13 件
その他：10 件
- 対応 国際村スタッフ：81 件
国際村スタッフ以外（コミュニティ通訳等）：58 件
内 24 件は活動費を国際村より支給
その他：2 件

通訳の依頼は昨年度に比べ 47 件増、特に医療関係が 37 件増で昨年度の倍の件数となった。

③コミュニティ通訳者の登録及び自主勉強会の実施

コミュニティ通訳登録者数は 131 名、対応言語は 15 言語

（英語、中国語、韓国語、ベトナム語、台湾語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語、インドネシア語、タイ語、ネパール語、モンゴル語、トルコ語、ウルドゥ語、ヒンディ語）

自主勉強会では医療や教育、観光など通訳シミュレーションを行いながら専門用語や適切な表現などを学んだ。中国語、英語、韓国語の 3 グループが、それぞれ毎月 1 回の勉強会を行った。

- 期 日 各言語 毎月 1 回土曜日か日曜日開催
- 中国語 10 回開催 参加者：68 名
- 英語 11 回開催 参加者：82 名
- 韓国語 12 回開催 参加者：62 名
- 会場 研修室、小研修室、応接会議室

④生活ガイドブック・情報マップの配布

地域在住の外国出身者向けに、生活に必要な基本情報を記載した多言語版生活ガイドブックとマップ、国際村紹介パンフレット（5 言語記載）『ようこそ出羽庄内国際村へ』を国際村窓口及び関係機関（市役所市民課）に配布した。

⑤令和7年度鶴岡市総合防災訓練 参加及び協力（鶴岡市主催）

- 期 日 11月9日（日）
- 場 所 湯田川コミュニティセンター
- 協 力 者 外国人ホテル避難移送訓練 中国語圏外国出身者4名
通訳1名
- 参 加 者 23名（日本語教室学習者等）
- 内 容 湯田川温泉に宿泊している中国語圏観光客が被災した想定での訓練。コミセン内に設置された外国人対応窓口で通訳を通して帰国までの説明を受けた。
一般参加者は初期消火訓練、煙体験ハウス、自衛隊による仮説入浴施設などを体験、見学するなどし、避難所や災害時の行動などについて理解を深めた。

⑥国際村日本語教室生活オリエンテーション

「日本の生活ルールを学ぼう！～防犯・防災・交通について～」の実施

- 期 日 12月21日（日）
- 会 場 国際村ホール ※Zoomでも同時配信
- 講 師 鶴岡警察署 警備課警備係長山形県警部補 寒河江優美氏
- 参 加 者 29名（日本語教室学習者、日本語指導ボランティア）
内オンライン参加者8名
- 内 容 自転車に乗る際の交通ルール、電話やネットの詐欺、冬季の水道凍結や雪崩、熊の危険について、やさしい日本語で説明してもらいました。

（3）やさしい日本語研修会

外国出身の住民や子どもなどに広く活用できる「やさしい日本語」を多くの人が身につけ、よりスムーズなコミュニケーションに活かすことを目的に、様々な機会をとらえ研修会を実施した。

- ① 鶴岡市新規採用職員研修において、外国出身住民等へのやさしい日本語を使った対応を学ぶことを目的に実践的な研修を行った。

- 期 日 10月21日（火）
- 会 場 鶴岡市立農業経営者育成学校
- 対 象 者 鶴岡市新採職員65名
- 講 師 財団国際交流専門員 今野志都子

財団相談員 楊詠麗

○協力者 外国出身者7名（アメリカ、インドネシア、台湾、中国、フィリピン、フランス、ベトナム）

② 「やさしい日本語研修会

～外国人との気持ちよいコミュニケーションのために～」の実施

○期 日 2月28日（土）

○会 場 出羽庄内国際村 ホール

○参加者 一般 29名

○講師

- ・ 出入国管理庁政策課外国人施策推進室
外国人支援コーディネーター養成係 吉村千里氏
- ・ 仙台出入国在留管理局酒田港出張所長 鈴木一彦氏
- ・ 鶴岡市防災安全課 岡部純氏
- ・ 財団事務局次長 佐藤幸
- ・ 財団国際交流専門員 今野志都子
- ・ 財団相談員 楊詠麗

○協力者 出羽庄内国際村日本語教室等の外国出身者6名
（タイ、ベトナム、ブラジル、インドネシア、ケニア、フランス）

（4）情報収集提供事業

国際化に対応するための情報の収集・提供するためのシステムづくりを進めるとともに、ホームページの充実を図った。また会報を発行した。

①インターネットによる情報提供

ホームページやフェイスブック等で講座やイベントの告知、報告など、最新情報を提供した。

②会報の発行及びイベント情報などの提供

「国際村だより」を発行し、会員に国際村のイベント情報などを提供した。

4. 国際村施設管理運営事業

鶴岡市より、平成26年度から、国際村の指定管理者に選定され、引き続き施設の使用許可に関する業務を受託するとともに、これまで市が直接行ってきた施設設備の維持管理業務についても受託し、利用者の利便性、サービスの向上が図られるよう努めた。

また、鶴岡市が発注した出羽庄内国際村の外部並びに内部改修工事においては、工事側と市担当課双方と連携し、施設利用者の安全確保と、貸館や主催事業の利便性が確保できるよう努めた。

5. その他

(1) 賛助会員

○令和7年度実績

・個人会員 244名 ・法人会員 20口

(2) 本財団評議員会・理事会の開催状況

① 評議員会

定時評議員会 (令和7年6月20日)

報 告	令和6年度事業報告について
第1号議案	令和6年度収支決算について
第2号議案	評議員の選任について
第3号議案	理事の選任について
第4号議案	監事の選任について

臨時評議員会 (令和7年10月22日 みなし決議)

第1号議案	理事の選任について
-------	-----------

臨時評議員会 (令和7年12月22日 みなし決議)

第1号議案	評議員の選任について
第2号議案	監事の選任について

臨時評議員会 (令和8年3月31日 みなし決議)

第1号議案	評議員の選任について
第2号議案	監事の選任について

② 理事会

第1回理事会 (令和7年5月23日)

報 告	令和6年度事業報告について
第1号議案	令和6年度収支決算について
第2号議案	令和7年度定時評議員会の開催について
第3号議案	役員の候補者について

第2回理事会 (令和7年6月20日みなし決議)

第1号議案	理事長の選定について
第2号議案	常務理事の選定について
第3号議案	常務理事への事務局長職の委嘱について

第3回理事会（令和7年10月22日みなし決議）

第1号議案 理事の候補者について

第2号議案 臨時評議員会の開催について

第4回理事会（令和7年10月22日みなし決議）

第1号議案 理事長の選定について

第5回理事会（令和7年12月22日みなし決議）

第1号議案 評議員の候補者について

第2号議案 監事の候補者について

第3号議案 臨時評議員会の開催について

第6回理事会（令和8年3月30日）

第1号議案 令和8年度事業計画について

第2号議案 令和7年度収支予算について

第3号議案 公益財団法人出羽庄内国際交流財団就業規則の一部改正について

第4号議案 公益財団法人出羽庄内国際交流財団職員給与規程の一部改正について

第5号議案 公益財団法人出羽庄内国際交流財団国際交流専門員の任用に関する要綱の一部改正について

第6号議案 公益財団法人出羽庄内国際交流財団臨時職員等の採用、給与、勤務条件等に関する要綱の一部改正について

第7号議案 公益財団法人出羽庄内国際交流財団役員の給与に関する規程の一部改正について

第7回理事会（令和8年3月31日みなし決議）

第1号議案 評議員の候補者について

第2号議案 監事の候補者について

第3号議案 臨時評議員会の開催について

③ 監事監査

令和6年度事業報告及び収支決算に関する監査（令和7年5月15日）